

# 市原市認知症対策連絡協議会 第3回例会議事録

日時 平成26年(2014年)1月23日 18時30分～21時00分

場所 市原市民会館大会議室 参加者 96名

## 1. 高橋瑞穂副会長挨拶

### 2. 【ミニ講演会】 市原警察署 生活安全課 田村栄喜課長

- ・市原警察署管内の犯罪の発生状況は、昨年3,793件(−120件)。
- ・自動車盗難が多い。千葉県は全国ワースト1位。さらに県内で市原はワースト2位。昨年299台(+69台)盗まれ、ハイエースが狙われやすい。次いで、店舗や事務所への窃盗が多い。
- ・減っている事件もある。633件(−48件)自転車の盗難。鍵をかけていないために盗まれている。自転車を盗まれた人が自転車を盗んでいる傾向がある。盗難の防止は警察だけでは無理、住民全体での防犯意識が大切。
- ・万引きは、中学生と高齢者が多い。
- ・空き巣が駅周辺の住宅街で増えている。市内は鍵をかけない家もある。きれいな町は犯罪が少ないと言われている。汚い町は「監視がないな」と思われて犯罪を呼び込みやすい。
- ・振り込め詐欺に17人が被害にあっている。合計6,718万円の被害額。振り込みよりも手渡しでの被害が増えている。ナンバーディスプレイの電話機で、振り込め詐欺予防に役立つ機器の貸し出しを行う予定(警察庁とのデータ交信により防止)。2月17日から募集開始。100台限定。高齢者で独居の方に使ってほしい。2年間はモニターで無料。コールセンターから振り込め詐欺の注意情報を連絡している。今年も2件発生している。約700万円の被害額。

質疑応答：

#### 1) 警察の認知症対策は？

→徘徊者の捜索は、警察へ連絡をする場合は早いほうが良い。防災無線は効果があるが、夜間は流せない。認知症の方に「分からなくなったらコンビニに入って聞く」という習慣をつけておく。何度も保護されて、家族より先に警察に連絡があり発見する場合もある。

#### 2) 行方不明になりそうな方がいた場合、警察に写真や情報を伝えておいた方が良いか？

→本手配と仮手配がある。警察署に来なくても電話でも特徴を伝えてくれれば県内に手配をかける。「いなくなったかも」という段階で連絡してほしい。

## 3. 分科会

### 4. 全体会 各分科会報告

#### 【医療部会】 市原市認知症対策連絡協議会(以下「市認協」)ニュース・健診制度について検討

- ・市認協ニュース(担当は五井病院言語聴覚士本間氏ら)を作り、必要なところへ配信する。ニュースを特に開業医やサポーター医に読んでもらいたい。また、ニュースで本例会の議事内容や認知症カフェ、リーフレット等を周知したい。医師会のネットワークで流してもらえば、費用の面も何とかなる。
- ・健診制度で使用されているスクリーニングテストについて、すでに他市町村で実施しているものを参考に。佐倉市で行われているか。

- ・上記のことなどを、情報収集をするボランティアをお願いしたい。

質問：なし

#### 【地域部会】 高齢者見守りネットワークについて検討

- ・警察署田村課長と高齢者支援課の嶋田氏が対談し市原市の状況を紹介。行方不明者は、家族と一緒に警察も探す、というスタンスでいる。
- ・認知症を近所で隠さないことが、近所の見守り体制強化につながる。
- ・認知症の方の、居場所作りも必要。
- ・最終的に対応してくれる場（警察なのか、市なのか）がないと、見守りだけでは難しい。
- ・高齢者110番のような目印があると良い
- ・町会は見守り機能としては役割を果たせない。介護自衛団のような有志が必要。
- ・市認協が広報活動を強化し、出前講座やかかりつけ医を活用して認知症の理解を深めていく。
- ・他市の取り組みでは、ガソリンスタンドやコンビニに FAX を送付。行方不明高齢者を探す訓練をしている。
- ・地域包括支援センターでは、新聞配達業者やお弁当配達の方にいつもと違うことがあれば、連絡してもらおうようお願いしている。
- ・警察は、コンビニや銀行へ防犯の面からも連携が取れており、タクシー協会やコンビナートの事業者とも連携が取れているので、ネットワーク作りでの調整が必要なら協力できると思う。
- ・新聞配達や郵便配達の方に「情報を教えてください」とお願いしても、「個人情報だから」と連携が難しくならないように、市が協定を結んで体制作りを進めていきたい。

#### 【施設部会】 相談員のネットワーク作り・認知症サポーター養成講座について検討

- ・相談員のネットワーク作り  
入所受付をする担当者のネットワークを作り、気軽に相談できるようにしていきたい。まずは、本日の出席者で連絡先をまとめる。将来的には市内の相談先一覧表を作成する。  
次の部会を待たずに、どんどん集まって進めていく。施設の情報交換のためには、現在、書式が施設毎に異なるが、統一した書式作りで連携の促進を図る。
- ・サポーター養成講座をすべての施設で行いたい。

#### 【サービス部会】 認知症高齢者に必要な情報とはどういうものか

- ・緊急時の短期入所を考えた時に、施設などの空き情報を知りたい。（案1）市認協の HP にリンクを貼る。（案2）市のHPに掲載する。（案3）他市では老人福祉施設協議会が管理して施設情報を掲載。  
必要な情報なので、市へ要望書を作成していく。

#### 5. 「カフェかさね」報告

高橋副会長より報告。2月11日のオープンに向けて準備中である。支援をお願いしたい。問合せ先電話：21-3733（カフェかさね）

#### 6. 認知症支援リーフレットの報告

大倉リハビリクリニック狩野氏より報告。4月の印刷に向けて、追加・修正などの意見があればお願いしたい。メールで案を会員に回す。

## 7. 連絡事項

- ・次回の予定：4月20日（日）五井会館 総会＋講演会
- ・メールが届いていないと連絡があるが、入会していない場合はメールでの連絡はできない。確認をお願いしたい。HPからも入会申込書はダウンロードできる。